

令和6年度補正予算「民間セクターとのパートナーシップを通じたマリ繊維セクターの持続性強化」（UNDP）5Sカイゼン研修の修了式

2025年4月25日、在マリ日本国大使館の遠藤次席は、国連開発計画（UNDP）と旭化成ファイバーイタリア社、ブルネロ社とのパートナーシップの一環として開始された令和6年度補正予算案件「民間セクターとのパートナーシップを通じたマリ繊維セクターの持続性強化」（150万米ドル）に係る「5Sカイゼン研修」の修了式に出席しました。

染色技術は、日本とマリ両国にとって経済的・文化的な財産であり、何世紀にもわたる伝統に根ざした豊かな遺産です。5Sカイゼン研修は、組織、効率、安全の改善に焦点を当てた5つの手法の実施を通じて、マリの染色業界関係者の能力強化を目的としています。

本式典には、UNDP、旭化成ファイバーイタリア社、ブルネロ社、研修生が出席しました。

